

# 学習した内容を活用して時代を大観し表現する 社会科学学習指導の工夫

— 歴史的事象を整理して、知識を再構成する『時代マップ』の活用を通して —

特別研修員 社会 山梶誉夫（中学校教諭）

## 目指す生徒像

学習した内容を活用して時代を大観し表現する生徒

## 生徒の課題

各事象のつながりなどについて正確に捉え、各時代の特色を説明すること

### 手立て1 歴史的事象のつながりを整理して、歴史の流れを可視化する活動

- ① 1時間ごとのまとめて、学習した内容を復習
- ② 時間の流れと「政治」「外交」「社会・生活」「文化」の四観点で歴史的事象を整理

① 重要な歴史的事象を書いた付せんを貼る。

② 歴史的事象のつながりを見つけ矢印でつなぐ。

③ どのようなつながりが補足する言葉を書き込む。

付せんだから、友達  
の意見を聞きながら貼  
り直すことができるね。  
マップ全体を見渡す  
と新しいつながりも見  
つかったよ。



### 手立て2 既習事項のつながりを利用して、時代の特色を説明する活動

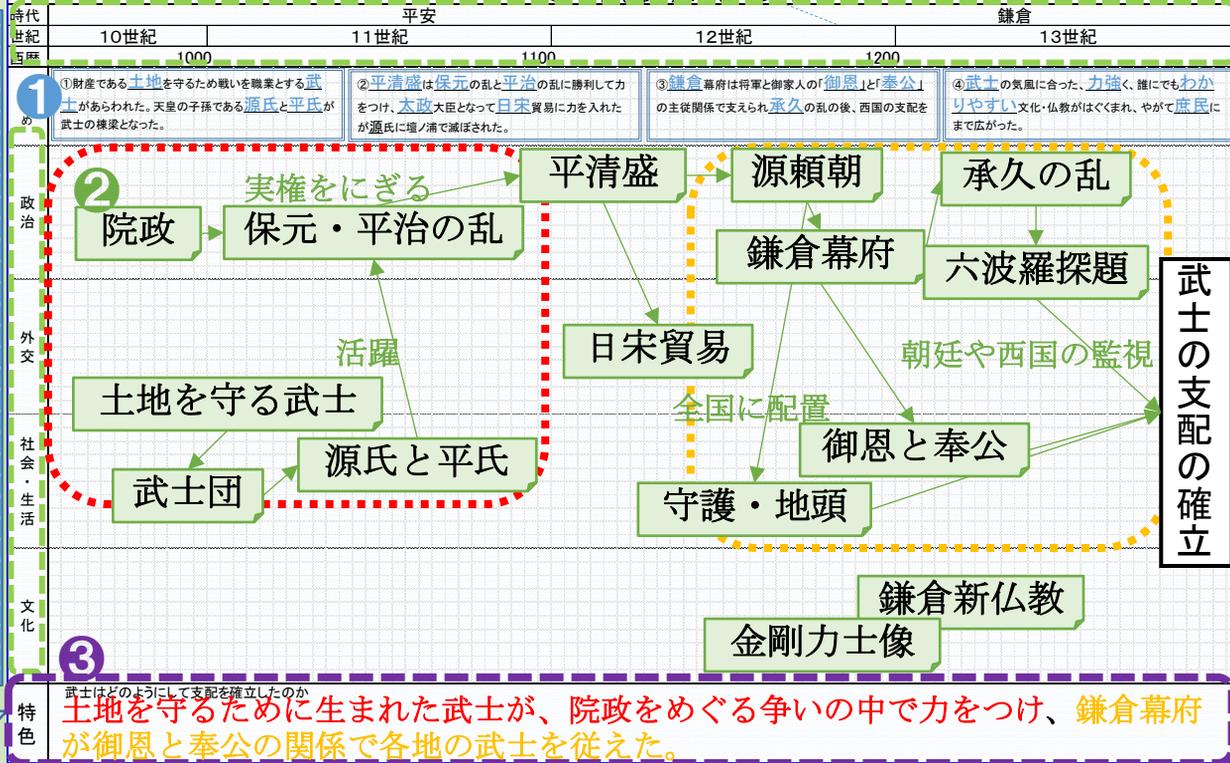
- ③ 時代の特色を書き、再構成した知識を文章化

① 時代の特色を表す単元を貫く学習課題に対する答えを書く。

② 時代マップを使いながら、班内の生徒や他の班に説明する。

時代マップに整理した1時間ごとのまとめや、付せんに書いたできごとやつながりを参考にすると、時代の特色を文章にしやすいな。

時代マップ③ 中世(鎌倉)の特色 その壱 1年 組



## 『時代マップ』の活用

## 成果

学習した内容を整理できた！

○ 時間の流れやつながりを意識することで、単元全体の歴史の大きな流れの中で捉え直すことが可能になった。

歴史を大観して時代の特色を表現できた！

○ 歴史の大きな流れについて、歴史的事象のつながりを基に時間の流れを意識して説明することができた。

## 課題

生徒自らの表現を導く支援

○ 課題に対する答えを自分の言葉で表現する際の表現の幅が広がるように、整理する場面での適切な支援が必要である。